

## 市民が考える「公共施設再編計画」！ PART II

日時：2018年2月17日（土） 午前⑨:30～11:50

場所：町田市民フォーラム 第1学習室

参加者：25名

### 1. 挨拶（藺田） 司会（手嶋）

### 2. 報告 市長立候補者、市議会議員立候補予定者への公開質問状のまとめと分析（鈴木）

2月初旬立候補予定者に公開質問状を送り、2月14日までに届いたものを載せた。

“未来派指数”というのは、まちだ未来の会の主張に近い度合いを、一定の計算式により点数化したもの。「1」に近いほど、その主張が未来の会の考えに近いと言える。

#### 【市議会議員立候補予定者への質問と回答】（資料1～6）

問1 「町田市5ヵ年計画17-21」には、103項目の「重点事業プラン」があげられていますが、町田市の歴史、文化や生涯学習の振興を促す事業はほとんど皆無といった状況。どう考えますか？

- ア. すでに一定の水準の施策実施 0
- イ. 限られた財源でやむを得ない 5
- ウ. 均衡を失って大いに疑問 2
- エ. その他

問2 （仮称）国際工芸美術館の建設計画の一方で、市立博物館の廃止をうたっており、地域の歴史や民俗を総合的に扱う施設がないが、

- ア. あるに越したことはないが、どうしてもなければならぬ施設とは思わない 0
- イ. 学校の余裕教室などを活用する 3
- ウ. 郷土資料館は必要。専用の施設を設置すべき 6
- エ. その他

問3 現在8館ある図書館の統廃合について

- ア. ある程度やむを得ない 0
- イ. 現在の図書館を維持すべき 7
- ウ. 市民が等しくサービスを楽しむよう地域に新設すべき 4
- エ. その他

問4 図書館資料費の大幅な削減（2012年度99,413,226円から2016年40,909,232円と半分）について

- ア. もっと減らすこともやむを得ない 0
- イ. 現状を維持すべき 0
- ウ. 低すぎる、一定の増額を 10

エ. その他 適正水準はどこなのか、慎重に見極める。

図書の充実を。

問 5 今策定がすすめられている再編計画が、必ずしも市民に周知されていない点について

ア. 十分に周知されている 0

イ. 各論については市が主導して決める 0

ウ. 市民が周知できるようさらに努力し、拙速にすすめない 12

エ. その他 市民の声を積極的に聞くべき。

存廃については総論賛成、各論反対になってしまう。グランドデザインを。

地域ごとの話し合いを。

問 6 再編計画では建物と機能を分けて考え、できるだけ集約、統合して施設を減らすと

していることについて

ア. 妥当 0

イ. 個々の施設に即して考える 7

ウ. 原則、集約、統合はすべきでない 3

エ. その他 集約、統合によって相乗効果も。

問 7 これまで 12 年間の石阪市政をどう考えるか

ア. おおいに評価 2

イ. まあ評価 7

ウ. どちらともいえない 5

エ. あまり評価しない 1

オ. 全く評価しない 3

その理由として

市民感覚とのずれがある。

高齢者対策、ごみ減量政策に成果。

野津田競技場につきつぎと改修が追加されることは看過できない。多くの疑問がある。

図書館が悲鳴をあげている。

若い人の困りごとを理解できていない。

保育施設の値上げ健康保険料の値上げ等全世代の負担増の一方、大型開発を計画。市民生活を圧迫している。

自治体が企業化、投資が最優先し生活実態に背をむけている。

問 8 当選した場合、どのような分野に関心を持ち、力を注いでいくか。

資料 6 ページに記載。

<感想>

昨日、所属している柿の木文庫のお話し会で赤ちゃんをつれた若いお母さんたちと話をしたところ、地域の商店街の魅力が語られた。地域を若い人にも高齢者にも住みやすい場所にしていかなくてはいけないと思いました。

○市長立候補予定者への公開質問状と回答（藺田）（資料1枚）

- 問1. 住みたくなる町とは、賑わいだけでなく「やすらぎ」や「ふれあい」のある町であることについて  
・賛成であり、その方向で市政をすすめたい 全員
- 問2. 身近なコミュニティに多様なサービスをする拠点をきめ細かく作ることに  
・賛成であり、その方向で市政をすすめたい 全員
- 問3. 公共施設を長持ちさせる「長寿命化」が大切。集約、統合して新たに作るよりも施設の補修や減築、市民の協力によって建物を使い続けることについて  
・賛成であり、その方向で市政をすすめたい 全員
- 問4. バランスのとれた財政配分が重要。新設される施設等の存在意義について市民の合意を得ることについて  
・賛成であり、その方向で市政をすすめたい 全員
- 問5. 活動の拠点となる施設（自由民権資料館、博物館、文学館、図書館など）を、市民の多様な参画によって維持することを目指すことについて  
・賛成であり、その方向で市政をすすめたい 全員
- 問6. その他、市政を進めるうえで重要だと考えること（自由記述）

以上、各項目で3名全員賛成の回答で、争点をはっきりさせておらず、あまり役に立たないものとなったが、表記によって色あいの違いが見られた。

石阪氏は、個々の項目にまともに答えておらず、実際の政策とのズレをどう説明するのだろうか？「二枚舌」としか受け取れない。問6で、「市政を進める両輪」としての首長と議会がうまく機能していないと書かれており、「3つ目の車輪」として「地区協議会」の活用と言及している。市民による直接参加をすすめたいと表記しており、直接民主制の仕組みづくりを目指しているのか？市民の側から「地区協議会」についても考えていきたい。

河辺氏は、問3で現状の公共施設の見直しを白紙化し、再検討したいと回答。木原氏も同様である。木原氏は、回答送る際のミスのため締め切りに届かず、資料印刷に間に合わなかったため、口頭での報告となった。問6で、現状のトップダウンの市政を、市民目線で。大型開発優先をやめる、中学校に全員給食を、など回答している。また、図書館は8つでは足りないと言。

<感想>

やりもしないこと、考えもしないことを言うのは信義にもとる。争点をさぐっていく。

今日の朝日新聞多摩版に、学生が今までの33市議の発言を“見える化”するウェブサイト in まちだ を立ち上げた記事が載っていた。未来の会でも、“見える化”していきたい。

3. 市民が考える再編計画 シノプシス（修正版4ページ）（藺田）

シノプシスはあらすじということですが、前回の学習会であげられた意見をいれ、修正したものです。

1 これからの社会をどう捉えるか

3つに整理。

- ① 希望のない社会ではない。若い世代との共同が必要。

- ② 経済成長は魔術的なことばであり、否定はしないが、質的充実を第1に考え幸福度をたいせつに持続可能な社会をめざす。
- ③ 人口減少、経済規模の縮小は避けられない方向だとしても、これまで作り上げてきた良好なストックを十分に活用し設計していく。

## 2 新たな「まちづくり」の課題と方向

市長の方針はにぎわい一辺倒。自然との触れあいなどの安らぎ、歴史、文化にささえられた落ち着き、防災、福祉サービスが充実した安心、生涯学習などチャレンジが可能なきめきが重要で、みんなで話し合い長期ビジョンを作り上げる必要がある。特に若い世代の人々が自分たちの住む町に抱いている夢や希望を重視したビジョンが求められる。市政の計画がいつの間にか決まることがないよう、誰もが納得するルール作りを行い、市民と行政で担い合うことを考え、身近で親しみやすいスモールスケールを重視していく。野津田競技場に計画されているような大規模なものでなく、小さなものをたくさん作っていく。

## 3 基本的なコンセプト

- 1) 徒歩通学を前提にした小学校区、あるいは中学校区を基本の生活圏に。
- 2) 安易な集約、統合ではなく、施設の機能を十分に発揮させる。
  - ・長寿命化をはかり、大切に愛着が持てるものに。
  - ・ネットワーク化で相互利用。
  - ・空き家や民間施設を活用する。  
若者の活動拠点、子育て世代、中高生、高年者の活動の場を各所に。
  - ・施設を生かす人を育てる。  
図書館、文学館などの専門職の価値を高めるとともに、市民と協働できる職員を育てる。
- 3) 市の財政全体の見直しと効率的な運用をはかる。  
市民が財務オンブズマンの仕組みを。  
施設新設にあたっては合意形成を。工芸館について議論する。ひなた村が民間委託になることについても、人件費の節約とともに失われたものがある。

## 4. 具体的な方策

- ① 学校をコミュニティの拠点に
- ② 文化施設を意味づけ、活性化
- ③ スポーツ、健康施設を身近に
- ④ 福祉施設のきめ細かい配置

高齢者と若者、子供たちとの交流、障がいがある方との交流拠点に。

## 5. 計画づくりの市民の参画

自治基本条例の制定

地区協議会を議論の場に・・・地域ごとゆっくりじっくり話し合っ

市民の代表（市民検討委員）を公募から抽選に。若い世代から高年者まで各年代層にもれなく市政への参画の機会を。

## 4. 質疑応答

○これを提案に終わらせずいかに現実のものにするか？ 市議の回答では、ほとんどが

現市政を批判していない。市長は、議会がうまくいかないから地区協議会を作って味方につけようとしている。

- 市議の立場はひとり。やれることは限られている。地区協議会と一緒にやるのがいいのではないかな。あるいは自治会長になったり。(現在自治会は市長の選挙母体である)
- 学校図書館の会をやっている。以前桜美林大学の先生が小山田に路面電車を走らせる論文をまとめ、署名を集めたが実施には至らなかった。実際、博物館、文学館も交通不便でなかなか行けない。コミュニティバスで施設を結ぶとか、学生と協力して町づくりすることを考えたい。女子美の学生が、「どんな町に住みたいか」企画展示したことあり。
- 弥生が丘自治会です。公共施設再編計画についての説明会のビラが来てまわしているが、1回目は限られた人しか行っていない。市民の意見は反映されていない。今、さるびあ図書館の存続を求める署名をコピーして廻しており、集まってきている。鶴川図書館については、鶴川団地に住む知人で認知症がある母親が楽しみに通っている。近くにあることが大事。認知症の人の図書館利用には制限があるのなら、皆で本を持ち寄って図書室にという形態もありか。
- 図書館協議会委員長をしています。制約はありません。「認知症と図書館」がNHKで放映された。市民が本を持ち寄って図書室を造るというのは、ものすごくいい。そのためには、図書館がしっかり蔵書を持って支えなければいけない。
- 筑波大の呑海沙織氏が『認知症のひとのための図書館サービス、ガイドライン』を出した。呑海さんが講演会で話したことを今度の「知恵の樹」に載せる。日本図書館協議会の全国大会が行ったシンポジウムがテレビで放映された。図書館、コミュニティセンターでの試み、医療現場での試みなどが紹介された。その人の昔のことの聞き取りでは、本人は生き生きし、医療的な効果もみられた。ガイドラインは、ネットからもダウンロードできる。
- 建築事務所をやっているが、若い人たちの現状は厳しいと思う。救うことはできるのか？
- 大学で学生と接しているが、100%スマホを持っているし、PTAの母親たちもラインでつながっている。情報発信を考えたい。地域にすぐ溶け込むのは難しいが、小、中学校は災害時の拠点になっていることが接点になるかもしれない。
- 文学館で仕事をしている。最近地域の若者をサポートするという意味でも、若いイラストレーターの展覧会をやった。若者が市民運動などに関わることは難しいかもしれないが、本人が本気で取り組んでいることとうまく噛み合えば、十分に力を惜しまず参加してくれるのだと思った。市民と行政の協働では、江戸時代の俳人、五十嵐梅夫、浜藻父娘の残した文献の翻刻を、古文書の解説に精通した市民がやり遂げ、その出版刊行を文学館で実現したことがあった。翻刻は、市民の手弁当の働きがなかったらできなかつたし、出版は行政の力がなければできなかつた。市民協働がうまく行った例だと思う。大切なことは職員側の意識を変えること。市民の想いに共鳴できる感性がなければ。
- 若い人に届けるために、まちだ未来の会のツイッターを発信している。今回も、朝日、読売に載った記事を載せた。会のツイートをリツイートして拡散してもらえたらと思う。
- 今朝の朝日新聞にのっていた早稲田大学の学生の町田の議会の「見える化」サイトにも連絡をしたい。
- 市役所の若い人たちは参加できないだろうか？
- 公務員だった。働きかけられるのは労組かと思うが、このところ常勤の労組の反応は鈍く、嘱託労のほうで活動している。自治研究センターは積極的ではない。
- 市民の自主的参加では、市がねらいを持ってやっている「まちだまるごと大作戦」はやりかたがうまい。

政治や宗教はダメとしている。政治的な話には若い人は入ってこない。

ツイッターをするときは、色を薄めた形でアカウントを作り、使い分けている。人々の多面性のどの部分につながるか考える。

- 生涯学習センターのプログラム委員を10年やっている。まちだまるごと大作戦の若者から、「集まる場所がない。ファミレスでは3時間模造紙を広げたりはできないしお金がつかない。」と聞いた。センターは名前をつけて申請すれば借りられるが、お金がかかる。市役所は日曜午前中空いてるのではないだろうか？
- 再編計画委員会では、市庁舎を貸し出す案は出ているが、お金は要る。
- 多摩市から来たが、やはり市長選が4月にある。ここで市長、市議への質問と回答がまとめられたのを見て素晴らしいと思った。パルテノン多摩は、30年経ち、80億かけて大改修する計画に市民が勉強会をしている。中央図書館とホールを合体する案では、利害がぶつかっている。ホールは市長直轄の施設で、あと3年使うにしても年間5億の維持費の合計15億をどうするかなど問題になっている。町田市民ホールとポプリホールの維持管理はどうなっているか？
- (手嶋)文化財団と指定管理。図書館は直営。  
指定管理は天下りがある。貸室の使用料は高い。  
民営化はかならずしも安くならず、受益者負担の問題も言われてきている。

## 5. さるびあ図書館の存続を求める請願について

3月13日5時第1次集約。ご協力ください。

## 6. 今後の取り組み

市の市民説明会(3/22~3/27)、意見募集(3/20~4/20)があるが、まちだ未来の会で意見を提出する。

次回学習会 3月18日(日)第11回

市民の対案をまとめます。

記録(庄司)